

滋賀 × SDGs ~SDGsは「未来との約束」~



SHIGA × SDGs

滋賀県 人口1,412,916人
面積4,017.38km²
平成27年10月1日現在（国勢調査）



滋賀県の中心には
日本最大・最古の湖
琵琶湖があります。

滋賀県は、全国に先駆け、2017年1月以降、SDGsを県政に取り込んでいます。

滋賀県は、琵琶湖を健全な姿で次世代に引き継ぐため、琵琶湖の環境にやさしい石けんを使う「石けん運動」を行うなど、官民挙げて環境保全に熱心に取り組んできた地域です。

また、中世以降全国で活躍した近江商人の「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」の精神や、戦後日本の「障害福祉の父」と呼ばれる系賀一雄氏の「この子らを世の光に」という思想を大切にし、実践してきた土地でもあります。

滋賀県に息づく経済・社会・環境の調和につながる考え方は、SDGsの精神と合致しています。

滋賀県は、県の政策にSDGsの視点を活用するとともに、経済界、大学等多様なステークホルダーとのパートナーシップを拡大しており、SDGsの達成に向けた様々な取組や新たな連携が次々と生まれています。

「滋賀SDGs×イノベーションハブ」 ～社会的課題をビジネスで解決～



産官が連携し、社会的課題解決につながるイノベーションを創出すると共に、新たなビジネスモデルの発掘・構築を目指します。

環境こだわり農業 ～環境にやさしい農業の推進～



農業、化学肥料を使用しないオーガニック農業を進め、琵琶湖の保全や生物多様性保全など、持続可能な農業を促進します。

環境教育・学習の推進 ～小学校での体験学習「うみのこ」～



県内小学5年生全員を対象に、学習船「うみのこ」による琵琶湖上での宿泊体験学習を学校教育の一環として行っています。

2017.6 シンポジウム「サステナブル滋賀 × SDGs」開催



国連のトーマス・ガス事務次長補の基調講演より

環境や貧困などの問題は一国では解決できない。みんなが豊かになるために、経済を持続可能な形で成長させ、富を分かち合おう。今、世界が試されている。助けを必要としている人を取り残してはいけない。一人ひとりの皆さんの努力が、希望を生む。

2018.4 シンポジウム「アリス・ウォーターズさんに学ぶ 食・農・暮らしの持続可能な未来」開催

アリス・ウォーターズ氏（※）の基調講演より

私達は健康や地球環境のために、食べ物の食べ方、買い方などに対する価値観を見直すべきであり、そのために子ども達に食を使った教育を行うことがもっとも重要だ。すでに滋賀ではその取組が始まっており、日本中、世界中のお手本になって欲しい。

※米国で、食を題材とする教育（エディブル・スクールヤード活動）や、スローフード運動に取り組んでいる。

